

1. 科目名 (単位 数)	法学 (憲法) (2 単位)	3. 科目番号	GELA1317 GELA1138 GELA1117
2. 授業担当教員	梶原 洋生		
4. 授業形態	講義 (質疑応答を含む) を主とするが、事例問題ではグループ討議、発表、検討を行う。講義はレジュメに沿って行うが、理解を助ける上で教科書を使用したり、必要な最新情報等を提供したりする。各自が要点を把握し、配布されたレジュメに筆記することが必要である。毎回の授業時間の末尾においてその日の授業内容に関する内容を記入し、提出する。	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	今後学ぶことが考えられる法律に関係する科目の基礎となるものである。 この科目は、民法、行政法、教育法規等を学習するときの基礎知識となるものである。		
7. 講義概要	<p>本科目は、教育職員免許状を取得する際の基礎資格として必須科目である。また、公務員試験を受験する際の必要な科目ともなっている。</p> <p>公務員や教員だけに限らず社会人にとって、法について基礎知識を学び、身に付けることは仕事を進める上で大切なことである。また、一般の公務員や教員及び企業人の実践力は法に裏付けられたものでなければ、その役割を全うすることは困難である。</p> <p>そこで、本講義では法の作用や役割を学び、社会人として必要とされる法律の基礎知識を習得する。なお、習得の際には、関連する多くの具体的事例を通して学んだり、他国の法との比較を通して学んだり、時にはグループディスカッションをしたりして理解を深めることにする。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法学 (憲法) の基礎知識を理解する。</li> <li>2. 法学を学ぶには、条文や判例などを読むことは欠かせないものであるとの学習態度を身に付ける。</li> <li>3. さまざまな国の憲法を比較することができる力を身に付ける。</li> <li>4. 法律的なものの考え方を理解し、仕事に就いたときに活かせるようにする。</li> <li>5. 教員採用試験や公務員試験に出題される法規一般の問題に対応しうる法律知識を身に付ける。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポ ート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業内でリアクションペーパーの提出を義務付け、理解習熟度の確認を行う。</li> <li>2 課題レポートの提出を義務付ける。テーマ: 「日本国憲法における人権の享有主体性について」</li> </ol>		
10. 教科書・参考 書・教材	<p>【教科書】 初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門 (最新版)』有斐閣アルマ。</p> <p>【参考書】 渋谷秀樹『憲法への招待』岩波新書。 石本伸晃『世の中が分かる憲法ドリル』平凡社新書。</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法一般の決まりや法規学習についての基礎知識を身に付けることができたか。</li> <li>2. 日本国憲法の基本原理と三権についての理解を深めることができたか。</li> <li>3. 国家試験 (社会福祉士や精神保健福祉士) や公務員試験 (一般行政職、公立学校教員、公立保育所、警察官など) の受験の基礎となる科目である。試験合格に対応できる力を身に付けることができたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>授業への取り組み状況 (授業態度、発言、発表など) 40%</p> <p>レポートや理解度テストの結果 60%</p>		
12. 受講生への メッセージ	分からないことについては、積極的に調べ、考えて、授業の内容を習得できるよう努めて欲しい。 法学、憲法の大切さが理解できるように、人権感覚を大切に努力してほしい。		
13. オフィスアワー	授業の前後		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	はじめに	事後学習	教科書 pp. 1~14 を読み返す。
		事前学習	「人権の歴史」について図書館で調べる。
第 2 回	憲法と人権理論 —人権の歴史と現代性—	事後学習	「人権の歴史」について 200 字以内でまとめる。
		事前学習	第 1-2 章内の享有主体性について 200 字以内でまとめる。
第 3 回	基本的人権の尊重 —人権の享有主体性—	事後学習	第 1-2 章について 200 字以内でまとめ直す。
		事前学習	第 3-4 章内の体系論について 200 字以内でまとめる。
第 4 回	基本的人権の尊重 —人権の体系—	事後学習	第 3-4 章について 200 字以内でまとめる。
		事前学習	第 6-7 章について平等原則を中心に 200 字以内でまとめる。
第 5 回	基本的人権の尊重 —平等原則—	事後学習	第 6-7 章について 200 字以内でまとめる。
		事前学習	第 9-10 章について保障の考え方を中心に 200 字以内でまとめる。
第 6 回	基本的人権の尊重 —教育権と教育保障—	事後学習	第 9-10 章について 200 字以内でまとめる。
		事前学習	第 11, 13 章について生命に関する裁判例を 200 字以内でまとめる。
第 7 回	基本的人権の尊重 —生命を考える憲法—	事後学習	第 11, 13 章について 200 字以内でまとめる。
		事前学習	第 14 章について平和主義に関する裁判例を 200 字以内でまとめる。
第 8 回	平和主義	事後学習	第 14 章について 200 字以内でまとめる。
		事前学習	第 1-14 章について統治の考え方を 200 字以内でまとめる。
第 9 回	人権保障と統治の意義	事後学習	第 14-15 章について 200 字以内でまとめる。
		事前学習	第 16 章について分立を中心に 200 字以内でまとめる。
第 10 回	権力分立—裁判所—	事後学習	第 16 章について 200 字以内でまとめる。
		事前学習	第 17, 18 章について国会を中心に 200 字以内でまとめる。
第 11 回	権力分立—国会—	事後学習	第 17, 18 章について 200 字以内でまとめる。
		事前学習	第 19 章について内閣を中心に 200 字以内でまとめる。
第 12 回	権力分立 内閣	事後学習	第 19 章について裁判例を 200 字以内でまとめる。
		事前学習	第 20 章について 200 字以内でまとめる。
第 13 回	地方自治	事後学習	第 20 章について事例を中心に 200 字以内でまとめる。
		事前学習	第 21 章について 200 字以内でまとめる。
第 14 回	憲法の今後	事後学習	第 21 章について事例を中心に 200 字以内でまとめる。
		事前学習	教科書全般の熟読。

第15回	日本国憲法の原理を整理	事後学習	今までの資料を使い、日本国憲法の原理についてポイントを整理して200字以内でまとめる。
		事後学習	講義の資料を整理して日本国憲法の原理を200字以内でまとめる。
期末試験			